

3. 修理の方法

3-2. レーザー銃の分解

- レーザー銃は左右対称の部品で作られていて、中央に合わせ面のラインはありますがねじは使われておらず簡単に分解することができませんでした。
- そこで、ケーブルが入っている銃のグリップ部分を切り開くことにしました。
(※ 修理依頼者には切って分解することを伝え了承を得ました。)

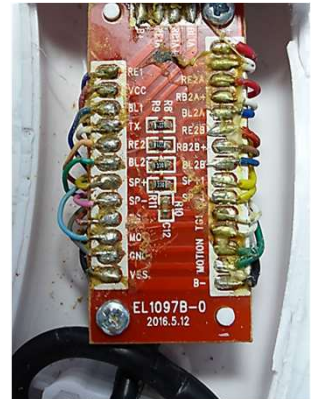
- グリップ内の基板にはライフコア内の基板と同じ表記の端子がありますので、この端子間の導通を確認することができます。結果的には、トリガー (TX) 間の導通がありませんでした。
- コードは12芯で全線長を交換する代替の線がなかったので断線していると思われる部分だけ (基板から10cmほど) を切断し、再配線をしました。



レーザー銃のグリップ部分を切除



導通不良箇所を断線



グリップ内の基板端子

3-3. 組立・完成

- 再配線 (半田付け) が終わったら切除したグリップ部分を元の位置に被せテープなどで仮組し動作確認をします。
- 故障が直ったことを確認したら切断面に接着剤を塗り元通りに組み立てます。

※ 切断部分の傷が目立ったり、接着の強度に不安がある場合は写真のようにグリップ部分にテープを巻いてもよいです。(今回は巻かずに接着のみです)



(完成)
グリップ部を接着



(参考例)
グリップをテーピング